2016.1.15

図書室だより vol.115

中央大学高校図書室

☆ 本の福袋 ☆

新春初売り福袋…、あちこちで売られている福袋と同様に、袋の中にどんな本が入っているか開けてみてのお楽しみ！！というものです。今年度図書委員会が行っている企画です。1月は学年問わず皆さんに楽しんでいただこうと思っています。ただいま準備中です。お楽しみに！

本はプレゼントではないので、返却してくださいね！悪しからず。

「読書通帳」を発行しています。
今までに借りた本の題名や貸出日と購入した場合の金額が記入されます。貸出履歴がわかります。図書室を利用せずに自分で買っていたらいくら？お得感も味わえます。
気になった人はカウンターまで♪

「読書マラソン」
スタンプカードを失くしてしまったからスタンプ集めるのをやめてしまった人もいるのかな？今からでも遅くない！再発行しているので申し出てくださいね。
3年間で100冊読もう！！

今月の名言

良心に恥じぬということだけが、我々の確かな報酬だ

『神様のカルテ２』　夏川草介　著　小学館　913.6-ナ-2

☆図書委員からのオススメ☆

『ロスジェネの逆襲』　池井戸　潤　著　文春文庫　（B913-イ-3）

「やられたら、倍返しだ」　あの「半沢直樹」の続きが読める！ドラマの最後で出向を命じられた半沢が、今度は出向先の東京セントラル証券で活躍します。

「半沢直樹」シリーズや『ルーズヴェルト・ゲーム』、『下町ロケット』など多くの作品がドラマ化している池井戸潤の作品です。

ときは２００４年。銀行の系列子会社東京セントラル証券の業績は鳴かず飛ばず。そこにIT企業の雄、電脳雑伎集団社長から、ライバルの東京スパイラルを買収したいと相談を受ける。アドバイザーの座に就けば、巨額の手数料が転がり込んでくるビッグチャンスだ。ところが、そこに親会社である東京中央銀行から理不尽な横槍が入る。責任を問われて窮地に陥った半沢は、部下の森山雅弘とともに、周囲をアッといわせる秘策に出た―。

この作品の最大の特徴は、登場人物がリアルに描かれているところです。主人公の半沢でさえ、やっていることが常に正しいとは限りません。倍返しをするために、多少行き過ぎてしまうこともあるのです。しかし、このことによって登場人物に対する感情移入をより深くさせ、物語に入り込んでいくことができるのです。

ドラマの続きが見たい！という人やスッキリしたい人は是非とも読んでみてください。

１年　男子図書委員

✦✦✦✦✦✦✦✦✦✦✦✦✦✦✦ お知らせ ✦✦✦✦✦✦✦✦✦✦✦✦✦✦✦

３年生のみなさん。**２/９（火）**が最終貸出日です。借りた本は卒業式までに忘れずに返却してくださいね。残りわずかですが、空き時間にぜひ図書室を利用して下さい！